

日本材料学会「コンクリート用骨材部門委員会」 平成 25 年度第 1 回部門委員会議事録(案)

日 時：平成 25 年 12 月 9 日（火） 13:30～17:00
場 所：大阪産業大学 梅田サテライトキャンパス LECTURE A
出席者：36 名（別紙 出席者名簿参照）

配布資料

- 1-1 平成 25 年度第 1 回部門委員会(公開)次第
(部門委員会活動, 骨材との関わり-55 年-, 材料学会入会案内, 骨材部門委員会規程 を含む)
- 1-2 高炉スラグ骨材を用いたコンクリートの諸性質について (岡山大学 綾野先生)
- 1-3 フライアッシュの新しい使用方法の提案 (石川工業高等専門学校 福留先生)
- 1-4-1 性能評価型コンクリートに向けた骨材調査委員会報告書(抜粋)
(大阪産業大学 高見先生)
- 1-4-2 近畿地区産の細骨材を用いたモルタルの乾燥収縮 (大阪産業大学 高見先生)

議 事

1. コンクリート用骨材部門委員会委員長挨拶

西林委員長よりコンクリート用骨材委員会発足の経緯およびこれまでの活動内容について説明があった。

- ・ 本委員会は昭和 39 年に人工軽量骨材委員会として発足し、昭和 60 年代にはアルカリ骨材反応が社会的問題となり、骨材全般を研究する委員会に再編成した。その後、約 17 年間にわたり、西林委員長を中心に活動してきた。
- ・ ここ数年、委員会としての活動は停滞していたが、現在も骨材に関する研究課題は多々あり、今後も委員会活動を PR することも含めて活動を活発にしたい。

2. コンクリート用骨材部門委員会の活動について

熊野幹事より今後のコンクリート用骨材部門委員会の体制・活動方針、材料学会について説明があった。

- ・ 当委員会は常置委員会として活動を継続する。
- ・ 本日開催された第 1 回幹事会により、以下の幹事が指名された。
大野幹事、熊野幹事、高谷幹事、高見幹事、高井幹事
- ・ 次年度の体制として、委員長交代を予定している。したがって、幹事会において委員長候補者を選出し、委員会で承認する手順とする。
- ・ 今後の活動内容として、JCI 近畿支部骨材調査委員会の成果を含めた骨材に関するマニュアルを取り纏めることを目標としてはどうか
- ・ 来年度は年間 2 回程度の公開部門委員会を開催する予定。
- ・ 来年度の活動計画、予算については幹事団に一任された。

3. 研究討論会

議事に引き続いて、研究討論会が行われた。3 名の講演者からの話題提供および活発な質

疑応答が行われた。

(1) 「高炉スラグ骨材を用いたコンクリートの諸性質について」

岡山大学大学院 綾野克紀

(2) 「フライアッシュを事前混合したF Aサンドを用いたコンクリートの諸性質について」

石川工業高等専門学校 福留和人

(3) 16:00～16:55 「近畿地方で使用される細骨材を用いたモルタルの乾燥収縮特性について」

大阪産業大学 高見新一

以 上